

「主体的な読書」を目指す取り組み

1 学校の概要

- ① 所在地 福島県いわき市内郷綴町板宮 2 番地
- ② 学級数 11(昼間主 7 夜間主 4) 生徒数 146 名(令和 4 年 5 月 1 日現在)
- ③ 8,331 冊(令和 4 年 5 月 1 日現在)

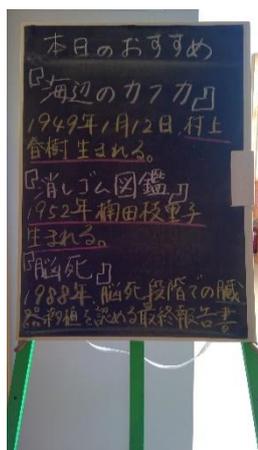
2 読書活動推進に向けた本校の取組

- ① 生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組

ア 学校司書による推薦図書コーナーの設置

生徒の読書への興味・関心を喚起するために学校司書が推薦図書コーナーを設置している。

推薦図書コーナーにはその日に起こった出来事やその日に誕生した作家、季節の行事に関連した図書を置いている。



また、今年度の 12 月には通常の推薦図書とは別に、図書室前の掲示板でクリスマスにまつわる図書をアドベントカレンダー方式で紹介し、1 月には絵馬の形で本を紹介するなど、工夫して図書の紹介を行い、生徒の読書への興味・関心を喚起している。



その他に、日めくり読書カレンダーを作成し、その日に起きた歴史的な出来事や誕生した人物に関連する図書をカレンダーの前に置いて紹介している。

#### イ 読書に興味・関心がない生徒も利用しやすい図書室づくり

図書室では、生徒参加型の催しを行っており、梅雨の時期にはてるてる坊主、七夕では短冊や七夕飾り、ハロウィンの飾り付け等の作成を図書便りで生徒に呼びかけ、季節の行事を意識しながら、読書に興味・関心がない生徒でも入室しやすい図書室づくりを心がけている。

このように様々な手段を用いて、生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組を行っている。

#### ウ 学級貸出の実施

図書室に足を運ばない生徒でも本に触れる機会が持てるように、各クラスに図書委員が選書した図書室の本を置いている。昨年度、学校図書館管理ソフト「エリーゼ・エッグ」を導入したことにより、貸出・返却の手続きがカード方式ではなくなったため、貸出の時間が短縮された。そのため、人数の多いクラスでも、選書に時間がかけられるようになり、司書の作成したチェック表を基に図書委員が選書を行い、様々なジャンルの本をバランス良く、学級に置けるようになった。



夜間主貸出図書



昼間主貸出図書

#### ② 学校における読書を通した読書習慣の定着を図る取組

##### ○ 始業前の読書の時間

年間を通して 10:00～10:10 の時間は読書の時間(昼間主)

年間を通して 16:40～16:50 の時間は読書の時間(夜間主)

#### ③ 読書活動の質の向上へ向けた取組

##### ○ LHR等でのビブリオバトル実施

#### ④ その他、読書活動推進へ向けた取組

##### ○ 公共図書館との連携

生徒や教職員のリクエストにより、学校司書が公共図書館から図書を借り、提供している。